



みどり

グリーンヒル だより 2018年 <春号>

社会福祉法人 翠燐会グループ

- ・特別養護老人ホームグリーンヒル
 - ・高齢者複合ケア施設グリーンヒルハ千代台
 - ・グリーンヒル指定通所介護サテライト南ディエーム
 - ・小規模多機能型居宅介護サテライトグリーンヒル勝田台
 - ・放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ
 - ・放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ ゆりのき台

ホームページ：<http://www.greenhill.or.jp/>



と記念写真を撮りました。そんな
桜の便りと共にこの三月、翠燐会
は「放課後等ディサービス」の二
件目の事業所をゆりのき台に開設
しました。初めての児童、障害の
分野の事業でしたが、この二年間、
お陰様で順調に進めてくることが
できました。現在一日十名近くの
子ども達が元気に通っております。
また、グリーンヒルは開設以来三
十八年目に入りますが、こ
の間の歴史を思うと高齢者に関する
社会福祉が激変したと言つても

理事長 津川 恵美子

私たちとはご利用者の方々が常に快適に過ごせれるよう、ハートフルな福祉・介護サービスでQOL（生活の質）の向上に努めます。地域福祉のパイオニアたれ
私たちとは、地域との連携を図りながら、福祉・介護サービスを積極的に展開し、地域福祉の先駆者としてチャレンジしてゆきます。
学ぶ姿勢を大切に
私たちは、常にご利用者の方々から学び、「田配り」「気配り」「声かけ」ができるように田口研鑽をすすめてゆきます。

「グリーンビルの心」

過言ではありません。八千代市で初めての特別養護老人ホームとして五十床で開設したグリーンビルですが、当時は「高齢化社会」とか「介護」という言葉が、ニュースや新聞を賑わすことはありませんでした。また、介護の担い手はほとんどが三十五歳位で子育てを終えた主婦の方々でした。入所してくる方は元気な方もおられ、一緒に草むしりをしたり、おむつたみをして頂いたりと職員共々、和やかな時間を過ごす事もありました。平成十二年に介護保険が導入され、この四月には第七期となる法改定があり、今まで以上に医療との連携が強化されてきています。

施設長 津川康二の母逝去
の際には、家族会有志の皆様
より供花を頂き、ありがとうございました。
《御礼》



卷八

ネーションが花屋さんの店頭に目立ち始めます。

「母」とは、いかなる存在なのか、今年は改めて「サトウハチロー」さんの本を読んでみたところ、実際に二百編もの「母」に関する詩を残していることを知り、驚きつつも「母」なるものが、いかに子に影響を与える存在であるかを再確認したところです。どんな人も母から生まれてこの世に生を受けます。グリーンヒルにも実に大勢の「母」がいます。大正昭和生まれで、家事育児に一生懸命に取り組んで来られた世代の方々です。

この三月に義母が逝去し、七十六歳という年齢には残念な思いでいっぱいです。毎年、母の日に鉢植の花を送っていましたが、花が咲き終わると、庭に地植えにして翌年にまた花が咲くと電話で知らせてくれる、そんな義母でした。今年は写真の前に感謝の気持ちと共に、また赤いカーネーションを供えました。

春の入職者研修が行われました



よろしくお願いします！

四月一日・三日、平成三十年度、春の入職者研修がグリーンビル・グリーンビル八千代台に於いて行われました。

今年は四年ぶりとなる新卒者一名を含む、六名の職員が受講しました。介護職員、看護師、事務職、放課後等ディサービスの指導員と、様々な職種が一堂に会し、翠耀会の

沿革や経営理念を学び、各部署の事業内容の理解を深める二日間となりました。日頃の業務から離れ、初めは硬い表情だった参加者も、お互いの業務を知り、同じグループの仲間としての親睦を深めることができたようです。

提携病院であるセントマーガレット病院の施設見学や、グリーンビル八千代台のご利用者の方々とのお花見など、ご協力いただきました関係部署の皆様に改めてお礼申し上げます。

研修を終え、各部署に戻り活躍している職員に、ぜひ声を掛けてください。今後共どうぞよろしくお願いいたします。

【 総務課 久保 登喜子 】

『前列 右から』	
グリーンビル八千代台	看護師
八千代台	介護職
上高野	事務職
『二列目右から』	
グリーンビルキッズ	屋上
八千代台	登喜子
キッズ	伊丹
指導員	里沙
介護職	作田
相馬	麻里子
黒田	登喜子
鳥飼	伊丹
潤一郎	里沙
昌代	作田
恵利	麻里子



特別養護老人ホーム グリーンヒル

1丁目



今 回は年に一度のイベント『誕生日』についてお話しします。ご利用者のお誕生日には、



担当がそれぞれ趣向を凝らしお祝いしています。基本的に誕生日当日にイベントを行うことになっているので、前もって何が一番喜んで頂けるか頭を悩ませています。苑で他の方と一緒に好きな物を召し上がり、プレゼントを受け取つたり、好きな時間を過ごせるような外出を実施することもあります。いくつになつてもお祝いされるのは嬉しいことであり、中には感極まつて涙ぐむ方もいらっしゃいます。皆様が笑顔になる様子を見ると、仕事に対する満足感に浸ることもできます。ですが、やはり何よりご家族に会えた時の嬉しそうなお顔は何にも代え難いものがありますね。どうぞお来苑の程よろしくお願ひ致します。

【副主任 新山 哲】

2丁目



昨年にも昨年と同じ日程一今年は暖かく桜の開花が例年よりも早かつた為、八重桜が少し残っていましたが、園内は様々な花で彩られています。



水辺の広場で遊び子ども達を見て、皆さん喜ばれていました。通りすがりの小さな子に声をかけたり笑顔が絶えません。バーベキューも「もう、お腹いっぱい！」と満足されたようでした。気温も高く、暑かったのでアイスクリームで水分補給。行き帰りの車中から見える花や新緑を見る事もでき、時間いっぱい楽しんで頂きました。

【副主任 三橋 恵美】

3丁目

二月二十七日に近くの公園に桜を見に行きました。上着がいらなくらいの良じ天氣で、建物内ではあまり笑顔が見られないご利用者が、桜を見て笑っていたのが印象的です。

三丁目の外には、山桜と八重桜があり、ソメイヨシノが散つても、順々に桜が楽しめます。四月に入り、山桜が咲きました。また、冬に利用者と一緒に植えたチコーリップが咲きました。皆さん喜び、「来年も植えようね。」と話していました。皆さん様子を見ていると桜は特別なものなんだと感じました。

【副主任 一戸 則夫】

「春」



セピア色の写真館

茂木 勝子 様

茂木 原理（夫）様 記

た次第です。

家内勝子は若い頃より調理に興味があり、上京を機に一念発起、巣鴨の調理学校にて調理師の資格を取得。その後、団地内や各所で調理サークルを開設し、運営と指導にあたっていました。周囲からは調理師の奥さんならば家庭の食事はさやかしと思われがちですが、実態はその逆がありました。

家内は七十年代後半になって、親の素因もあつたのでしきりに、変形性膝関節炎から歩行困難となり、家庭内の被介護生活に移行せざるを得ませんでした。勢い私が家事全般に加えて本人の介護をしていましたが、周囲から見ると、これでは共倒れになつてしまふとの配慮からグリーンヒルの入所に至りました。さ

て、被介護人が手から離れますと、私としてはやることが無く、正直時間を持て余していいる状況です。改めて介護は大変な作業であることを思い知った次第です。

たまたまグリーンヒルが自転車で十五分の距離ですので、家族の絆を保つ為にも出来るだけ顔を出すように心掛けております。施設介護と在宅介護を比較して最も感じた点は食事の問題でした。施設の食事は内容のバランスは勿論のこと、すべてが食べやすく消化しやすく調理されており、これだけでも入所して良かったと思っています。その他身繕いからリハビリに至るまで、介護の実態を目にすると共に感謝の気持ちで一杯です。



私たち夫婦は

共に昭和九年生れ、今年で八十歳になりました。まだまだ元気だと言いたいところですが、家内勝子が七十年代後半より被介護の身となり、現在グリーンヒルにお世話になつております。

私たちは揃つて北海道の最東端根室の出身です。私は昭和三十二年、進学を目的に上京し、東京で就職、現在に至っております。一方、方家内は昭和三十七年、私との結婚を機に上京しました。いざれにしても上京後五十年余、ふるさと根室を遠くに感じています。

北海道根室は、距離にして東京からは最も遠く、馴染みの方のが少ない事から、ここで根室の紹介をさせていただきます。歴史的には大変古く、明治政府が北海道を統治するにあたって、三つの県に分割しました。函館、札幌そして根室県でした。当時交通機関は船に頼るしかなく、本州との中継地函館港、樺太との中継地小樽港の札幌県、そして千島列島

の中継地根室県でした。千島列島近海を漁場とした漁業の町、それが根室でした。勝子の父親も漁師の一員でした。ところが根室は先の戦争で漁場としていた千島を失い、町の状況は一変しました。町は疲れるばかり、当時の千島島民は本国に強制送還されました。距離的に至近という関係から根室地方に居を構えた方が多く見られたのも頷けます。高校時代、クラスの三分の一は列島の引揚げ者で、「俺は国後だ」私は「捉捉よ」が良く聞かされました。千島列島には大きな病院や上級学校もなく、進学する人は根室市内での下宿生活でした。何れにしても島の人達にとって、根室こそ母国であったのでしょう。一方、根室にとつては千島こそ手足の一部であつたようです。

さて、話を戻しますが、私達は結婚当初、西船橋の社宅住まいでした。昭和四十三年になつて、通勤こそ不便になりましたが、当時開設した米本団地に入居できました。十六号線は米本団地までが舗装されており、その先是砂利道でした。また団地より勝田台駅まで最初はバスで十分でしたが、その後信号も多くなり、かつ交通渋滞やらで、バスの時間が長くなり、勝田台駅前のサンコーポに転居し

グリーンヒルティサービスセンター

送

迎時のドライブで
は市内の花々が観



賞でき、季節の移り変わりを感じます。新川沿いの桜、ゆりのき通りのつじもとても綺麗でした。先日はそこで、つつじ祭りが行われました。デイルームにお越し下さったボランティアの皆様が晴れ空の中、素敵なお演奏のステージを披露されていました。心弾むような演奏を是非またお願いしたいです。

さて新年度が始まり、早ひと月が経ちます。四月からグリーンヒルティサービスは提供時間を利用され時間を変更し、ご利用される皆様は約三十分過ごす時間が長くなりました。

長くご利用される皆様の中には「帰りが遅くなつて心配」「体力が持つかしら・・・」とそれぞれ心配の声も聞かれました。お一人おひとりの不安に寄り添いながら、職員間で実施前から十分に話し合い、実施後も毎日を振り返り、これまで通り安心してご利用いただけるよう、現在も工夫を重ねている



【相談員】
【煌りサブリーダー 福元 香織】

恩房 憲克

ところです。時間が延びたことで『もう少し余裕をもって入浴やリハビリ、交流の機会を提供できるのではな

いか』など、メリットを強く意識しながら、皆様がいかに快適に、ご利用の目的と成果を感じることができる内容でお過ごしいただけます。「もっとみんなで運動したい」「まだ歌い足りない・・・」など、その日その時の気分も大大切にして、柔軟に時間を活用できればと考えています。また、お陰様で男性のご利用も増えてきました。麻雀やリハビリクラブなど、男性ご利用者も有意義にお過ごしいただけるように



ところです。時間が延びたことで『もう少し余裕をもって入浴やリハビリ、交流の機会を提供できるのではな

サテライト南ティホーム

平成二十八年四月より、
グリーンヒル・サテライト
ト南ティホーム（出張所）

となり、三年目を迎えた。



家庭的な南ティしか体験出来ないことを中心に、



また外へも目を向け、歩く機会を沢山設け、いつまでも皆さんに元気でいていただければと考えております。上高野

ティや小規模ハ千代台のプロ

グラムにも興味のあるものには積極的に参加させていた

いきたいと思いま

だき、法人内でもフットワークの良い機会として、これからも職員一同取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

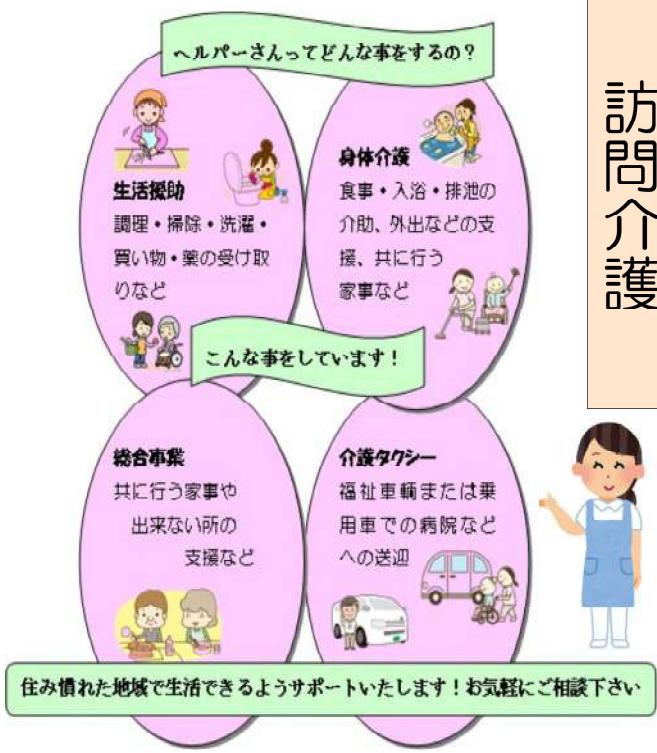
【生活相談員】



居宅介護支援事業所



訪問介護



『ハート・トゥ・ハート』をモットーに、頑張っています。ヘルパーさんも随時募集中です。ご応募待ってま～す！！

【左】 名前：山田 千代 血液型：B型 星座：おうし座 趣味：家族サービス 好物：寿司	【左から2番目】 名前：多田 美穂子 血液型：A型 星座：いて座 趣味：温泉巡り 好物：美味しい物なら何でもOK！
【右】 名前：永田 弘子 血液型：B型 星座：うお座 趣味：ヨガ・手織り 好物：白米・フルーツ・ビール	【右から2番目】 名前：佐藤 直子 血液型：AB型 星座：うお座 趣味：パン作り 好物：チョコ・寿司・焼肉

昨年9月に
移転しました

八千代市勝田台地域包括支援センター
～高齢者相談窓口あんしん～



勝

田台地域包括支援センターは、
京成サンコープE棟の一階に移転しま
した。

平成三十年度がスタートし、ますます地域包括支援センターの役割が大きくなっています。現在は、三職種（主任介護支援専門員・社会福祉士・看護師）と介護支援専門員の六人が配置されています。

八千代市では、地域の高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指し取り組んでおります。高齢者の総合相談をはじめ、認知症に関する取り組みの充実・介護予防普及啓発地域の住民がお互いに支えあう地域づくりの支援など、より充実した委託業

務内容になつております。

職員も増え、業務量も多くなつてきていますが、三職種のチーム力と地域関係者の皆様方のご協力を得ながら、「認知症になつても安心して生活できる勝田台」を目指して頑張りたいと思いま



【センター長 武田 信子】

高齢者複合ケア施設 特別養護老人ホーム

地域密着型 グリーンヒルハ千代台



今年度の新入職員を紹介します！

初めまして、今年度入職しました「伊丹 里沙」です。

学生時代の実習では、グリーンヒルハ千代台にお世話になり、人と接することの楽しさや難しさを学ばせていただきました。不慣れな点が多くあり、ご心配をお掛けすることもあると思いますが、精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。



桜の開花と共に、グリーンヒルハ千代台特養も新しい春を迎えました。さて、今年のお花見会は暖かな陽光を受けながらの開催です。場所は八千代台第二公園。たまに吹く風が花吹雪を起こし、自然と感じられる風情に現地は盛り上がりました。お弁当作り等でご協力いただいたご家族の皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今年度の特養の目標の一つとして「毎月の外出」が掲げられています。その方が今望んでいる事、またこだわりをしっかりと汲み取り、自分らしさを引き出せるようケアに努めて参ります。【生活相談員 角掛竜】

小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台

小規模多機能型居宅介護 グリーンヒルサテライト勝田台



3月6、7、17日とキッズの卒園遠足も兼ねて、東金みちの駅「みのりの里」へ「いちご狩り」に行ってきました。「紅ほっぺ」「チーズベリー」「かおり野」「章姫」の四種類の苺があり、それぞれ違う味で、甘さも色々ありました。子ども達は大きな苺を小さな口いっぱいに頬張って、思わず笑顔があふれます。ご利用者も美味しい苺を堪能しました。

【 計画作成担当者兼介護職員 本田 知美 】



ひな祭りのフラワーアレンジメントをしています。モモの花と春らしい色合いの花々を生けました。玄関に早速飾っていらっしゃいました。

2月27日 フラワーアレンジメント



志津の多目的広場に河津さくらを見に出掛けました。暖かい春の日差しの中、河津さくらが満開に咲いていました。美味しいどら焼きを食べながら、ゆっくりとした時間を過ごしました。

【 サブリーダー 辻内 香里 】

3月13日 志津河津さくらのお花見

グリーンヒルキッズ

放課後等ティーチャーズ

春一グリーンヒルキッズの子ども達も新しい学年を迎え、先生もお友達も教室も変わり、とまどい環境のなかで、それぞれになじもうと、一生懸命に頑張っています。

毎月一回開催しているグリーンヒルキッズ父母の会では、講師に前田ケイ先生をお招きして『保護者とのSSTを使ふようになろう』というテーマで講習会をしました。日々の子ども達との生活の中で、実際に活用できるSST（ソーシャルスキルストレーニング）のお話をたくさんしていただき、楽しい学習会になりました。

子ども達は、日々、学校でさまざまなことを学び、頑張ったり、泣いたり、怒ったり、笑ったりしながら、その気持ちをグリーンヒルに来て表現しています。グリーンヒルでは、子ども達一人ひとりに寄り添い、お友達との『かかわり』や『あそび』『学習』の中から、『コミュニケーション力』を身につけ生きスキルを学びます。

これからも、子ども達が持っているいるそれぞれの特性を伸ばす支援をしてまいりたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



市川動植物園に行きました！目の前にたくさん動物がいてびっくりしたよ



たこやき作りスタート！粉をまぜて たこを切って… さあ まるく焼けるかな？

文化伝承館で、『ゆいの会』の皆さんと一緒に昔あそびをしました！けん玉やゴム鉄砲・ぶんぶんゴマも教えてもらったよ



帰る前は、読み聞かせでクールダウン！一生懸命に聞いていますよ

グリーンヒルキッズゆりのき台

月一日、東葉高速八千代中央駅前に放課後等ディイサービス『グリーンヒルキッズゆりのき台』が開設となりました。

放課後等ディイサービスとは、児童福祉法に位置づけられた学齢期の子どものためのディイサービスです。

グリーンヒルキッズでは、小学生を対象に、安心できる環境で、ご家族との信頼関係を大切にし、子ども達の社会性の向上を目指しております。子ども達の生活能力向上のため、楽しく明るい空気感のなかで、遊びを通じた療育活動・運動活動・学習活動・音楽・創作活動・体験活動などの支援を行つてまいります。かけがえのない子ども達の輝く未来のために、今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。



八千代市ゆりのき台3-3-5
AHCゆりのき第2ビル101号室
TEL 047-411-5711
FAX 047-411-5721



学習活動スペース

運動・遊びのスペース

音楽・創作活動のスペース

足ツボふみが
いたいよ~う！！

ゴールデンウィークは、花島公園と北東部近隣公園におでかけしました！村上キッズのお友達とも交流して、たくさん遊んで楽しかったよ！！

新しいお友達は
みんななかよし！！

